

## 蔵王火山溶岩の感度法による K-Ar 年代測定 Unspiked K-Ar dating for lavas from Zao volcano

山崎 誠子<sup>1\*</sup>; 及川 輝樹<sup>1</sup>; 伴 雅雄<sup>2</sup>  
YAMASAKI, Seiko<sup>1\*</sup>; OIKAWA, Teruki<sup>1</sup>; BAN, Masao<sup>2</sup>

<sup>1</sup>産総研 地質情報研究部門, <sup>2</sup>山形大学 理学部  
<sup>1</sup>Geological Survey of Japan, AIST, <sup>2</sup>Faculty of Science, Yamagata Univ.

蔵王火山は東北日本の火山フロントの中央部に位置する複成火山である。先行研究では、約 80 万年前に活動を開始し、主となる山体は約 30-10 万年前に形成され、その後、約 3 万年前から現在までの最新活動期が続くと考えられている。本火山は初めて K-Ar 法における質量分別補正の必要性が示された火山であり、約 50 試料の年代値が報告されているが、未調査地域も残っており、一部カリウム含有量が低い試料や過剰アルゴンの混入が疑われる試料等について層序や古地磁気データと矛盾する場合もあった。本研究では、蔵王火山の活動史の全体像を明らかにするために、これまで未調査だった地域を含めて調査・試料採取を行ない、感度法による K-Ar 年代測定を実施したので、その結果を報告する。

キーワード: 蔵王火山, K-Ar 年代測定  
Keywords: Zao volcano, K-Ar dating